

平成30年第6回

# かほく市教育委員会議事録

平成30年6月14日

## 議 事 録

平成30年第6回かほく市教育委員会議事録	
招集年月日	平成30年6月14日(木)
招集の場所	かほく市役所 203会議室
開 会	平成30年6月14日(木) 午後2時55分宣告
出席委員	教育長 山越 充
	教育長職務代理人 山本 滝 男
	松井 三枝子
	長柄 悦子
	紘野 武利
欠席委員	なし
説明のため出席した者の職氏名	教育部長 山口 吉 男
	生涯学習課長 折戸 靖 幸
	学校教育課 課長補佐 北川 直 紀
	教育センター所長 西尾 康 弘
会議に職務のため出席した者の職氏名	学校教育課 主査 杉角 浩 一
議事録署名委員の指名	教育長は、議事録署名委員に次の2人を指名した。
	松井 三枝子                      長柄 悦子

会議に付した事件並びに審査結果	議案番号	件名	結果
	議案第18号	平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について	継続審査
		以下余白	
	請願・陳情番号	件名	結果
		案件なし	

協議・報告事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 平成30年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費6月認定結果について</li> <li>(2) 平成30年度奨学資金支給に係る奨学生の決定について</li> <li>(3) 平成30年度コミュニティ・スクールプランに係る査定結果について</li> <li>(4) 第15回かほく市生涯学習フェスティバルについて</li> <li>(5) 第70回石川県民体育大会日程及び会場について</li> </ul>

## 開 会

### 【山越教育長】

平成30年第6回かほく市教育委員会を開催します。

### 議事録署名委員の指名

### 【山越教育長】

議事録署名委員の指名をします。署名委員として松井委員、長柄委員を指名します。

### 前回議事録の承認

### 【山越教育長】

前回議事録の承認ということで、事務局より説明願います。

### 【北川学校教育課課長補佐】

(5月29日開催の議事録にて説明)

### 【山越教育長】

前回議事録について何かご意見、ご質問はありますか。

(意見・質問なし)

### 【山越教育長】

ご意見等ないようでありますので、前回議事録は承認されました。

## 教育長の報告

### 【山越教育長】

それでは、教育長の報告をします。前回5月29日以降、今年度の教育事務所に要請して行われる指導主事訪問について、外日角小学校、高松中学校、大海小学校の3校が終了した。今年から訪問の回数、学校の経営説明からの教育委員の同席など、少し形態が変わりましたが、どうだったでしょうか。改善点などがありましたらご意見をお伺いしたい。

小学校の外国語について、本日の新聞にも掲載されておりましたが、新学習指導要領による3・4年生で35時間、5・6年生で70時間の授業時間を先行実施しているのは全国では約3割とされています。石川県の場合は、かほく市を含め4市町であり、石川県内の取組は少し遅れているのではと今日の新聞を見て改めて感じました。今年から各小学校の外国語の授業に指導員を配置しており、今回の指導主事訪問があった外日角小学校、大海小学校は同一の指導員であります。経験も豊富な方で力量も安定していると感じました。3校の指導主事訪問を見て細かな点の指導はありましたが、やはり学習規律がしっかりしているクラス、学校は指導が徹底されていると改めて感じました。

前回の会議から短い期間であります。6月6日には小学校4年生の器械運動交歓会が開催されました。

また、教育委員にもご臨席いただきましたが、6月3日には市総合体育大会の開会式、応援巡回、6月7日には寸心忌が開催されました。県学童話し方大会において、教職員の多忙化改善の取組、哲学館の職員の増員もあって、これまでは宇ノ気小学校が主管と

ということで実施しておりましたが、今年度からは西田幾多郎記念哲学館が主管として実施しております。

前回の会議で友好都市提携を締結した長野県駒ヶ根市のことを報告させていただきましたが、駒ヶ根市教育委員会から8月22日から23日にかけて、かほく市へ訪問したいと連絡がありました。後ほど事務局の方から説明させます。

また、教職員の働き方改革について5月の教職員の時間外勤務について集計ができました。対前年同月と比較し92%程度であり、4月と同様に学校間でばらつきが見られる状況であり、特に中学校でばらつきが見られます。

全国・県の学力調査に合わせ、かほく市では小学校5年生、中学校1・2年生を対象に独自の学力調査を実施し、先日、指導主事の方から速報値として報告を受けました。結果については、改めて教育委員の皆さんに報告させていただきますが、やはり中学校では英語が課題となっており、小学校では学校間でのばらつきが目立つようになっていきます。特徴的なことを申し上げますと、国語の観点別の得点で「書く能力」という観点が学校間のばらつきが非常に大きくなっています。このようなことも、しっかりと学校に指導していきたいと考えております。

以上で教育長の報告とします。何かご質問等ありましたらお願いします。

**【松井委員】**

国語の観点別の「書く能力」の話がありましたが、これは指導主事からの報告ですか。教育長が感じたことですか。

**【山越教育長】**

教育長として感じたことです。「書く能力」だけが得点のよい学校と悪い学校がはっきりしていたということです。

**【松井委員】**

それは、各学校における取組の差ということですか。

**【山越教育長】**

私は、学校における取組の差であると思っており、学校でもそのような認識をしてほしいと考えております。

**【松井委員】**

小学校の外国語教育について、2校の指導主事訪問でアドバイスとかありましたか。

**【山越教育長】**

2校とも良好な評価でありました。かほく市では「T2」の外国語指導助手が授業の前面に出ない、「T1」の担任が全面的に授業を進めるように言っているのですが、指導主事からは「T1」の担任の先生にもう少しこうしたらよいかの指導はありました。全体的に比較的良好的な評価であったと思います。

**【松井委員】**

かほく市では担任の先生が授業を進めるということですか、外日角小学校では学年によって、若い先生の場合、外国語指導助手との打ち合わせがどうなっているのかと感じました。若い先生だとどうしても外国語指導助手に頼ってしまうと思うので、学校内での研修も必要ではないかと思えます。

**【山越教育長】**

確かに打ち合わせがなかなかできないという状況はあると思います。現在配置してい

る外国語指導助手が授業を進めることはできると思いますし、それをかほく市の外国語教育の特徴とすることも可能かと思えます。しかし、原則は担任が授業を主導するのが本来だと思います。県教育委員会連合会においても英語専科の教職員配置について、引き続き、国に対して要望もしているところでもあります。

**【山本教育長職務代理者】**

今は小学校で外国語が教科化され、学校には英語専科の先生も配置されていない過渡期の状況では外国語指導助手が授業を進めることがあってもよいのではないかと思います。

**【松井委員】**

宇ノ気小学校に配置の民間のALTはとてもすばらしいと聞いていますが、どのような契約になっていますか。

**【山越教育長】**

宇ノ気小学校に配置のALTは、基本的には1年1年の派遣契約となっており、途中でALTが変更となっても、会社の方で新たなALTを派遣する形になります。

**【松井委員】**

現実的に外国語を指導する教員がいない中で、先行実施をしなくてはいけないという現実があり、なかなか難しい問題ですよね。また、小学校であれだけの英語をやっているとすると中学校との接続も考えなくてはいけなくなりますよね。

**【山越教育長】**

今年の6年生は去年の5年生の時は外国語活動を35時間しかやっていません。今の5年生は70時間して6年生に上がります。このようなことでも今年と同じ指導計画でよいかというと、毎年調整が必要になってくるという非常に難しい時期になります。推進校の宇ノ気小学校ではそのあたりも研究しているところです。

先日も新聞社が宇ノ気小学校の方へ外国語教育の取組について取材に来たようであります。

そのほか、何かご意見、ご質問はありますか。

(質疑なし)

**議 件**

**議案第18号 平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について**

**【山越教育長】**

次に、議案第18号 平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について、事務局から説明をお願いします。

**【北川学校教育課課長補佐・折戸生涯学習課長】**

(平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について、平成29年度の新たな取り組み、評価を「A」評価とした事業、今後のスケジュールについて説明)

**【山越教育長】**

ただいま、事務局より説明がありました。委員の方から質問、ご意見等をお願いします。

**【山本教育長職務代理者】**

全体を通して「B」評価から「A」評価になったということは、よいことだと思いますが、目標の数値があって、その目標を超えて「A」評価というものと、そうでないものも

あります。取り組んだ事自体に意味があり評価した事業、やったことで効果が表れたという事で「A」評価にした事業があると思いますが、そのあたりをしっかりと説明できるようにしてほしいと思います。また、逆に昨年目標値を達成して「A」評価だったものが目標値を下回り「B」評価としたもの、計画どおり進んでいて「B」評価だったものが何らかの事情により計画通りに進まずに「C」評価になったものはないのか。その年々で評価が下がることもあるのではないかと。

#### 【北川学校教育課課長補佐】

基本的には昨年目的を達成したという「A」評価した中で、今年は取り組まなかったので「B」評価としたものはありません。しかし、学力調査の結果だけを見れば、中学校の数学では5年ぶりに県平均を下回りましたが、取組内容については例年と同様に取り組んでおり学力調査の結果だけで評価しているわけではありません。調査結果をもとに学校での取組等を踏まえ「A」評価とさせていただいております。全体を通して、「A」から「B」へ、「B」から「C」へ、評価を下げるというものはなかったと考えています。

#### 【山越教育長】

今ほど山本委員が言われた見方をして下がるものがなかったのかということだと思いがそのあたりはどうか。

#### 【北川学校教育課課長補佐】

基本的には、昨年目的を達成した取組については、同様の取組をしていけば評価は下がることはないという考え方で評価させていただきました。

#### 【折戸生涯学習課長】

生涯学習課も基本的には同様の考えで、数値目標である中央図書館の来館者について、これまでリニューアル以降、増加しておりましたが、昨年の平成29年度は初めて減少しました。改めて魅力ある図書空間づくりを検討しなければいけないと考えておりますが、評価を下げるという考えはありませんでした。

#### 【山本教育長職務代理者】

単に「A」評価を「B」評価にとか、「B」評価から「C」評価に下げろと言っているわけではなく、取組内容を検証して毎年評価を見直して、次年度に繋げてほしいという思いで言わせていただいた。

#### 【松井委員】

今、山本委員が言われたように評価基準がやっぱり曖昧なために、評価について疑問に思うところがあります。数値目標があるものとないもの、数値目標がないものについて、何を基準に評価するのか。取組の様子が見られるから「A」評価にするのか、成果が見えたから「A」評価にするのかという基準（A：計画目標を達成している・B：計画どおり進んでいる・C：計画より遅れている・D：具体的な取組がなされていない）の表記が問題なのかなと思います。

先ほど図書館の来館者数が減ったとありましたが、図書館職員はこれまでと同様の取組をしていたから仕方がないと受け止めればいいのか、やっぱり評価の判断基準というのが疑問に思ってしまう。

#### 【北川学校教育課課長補佐】

現在、教育振興基本計画の見直しの中では、具体的な取組ごとに数値目標をできるだけ設定をし、評価できるように見直しを進めるように教育長からは指示を受けておりま

すが、現行の計画には数値目標のあるものとならないものがありますので、来年度の点検及び評価までは、今年度と同様な評価になると思います。

#### 【松井委員】

幼稚園、保育園と小学校の連携のところで、認定子ども園になり「教育という観点での指導がスタート」と記載がありますが、昨年度の総合教育会議で市長にお尋ねした際、保育の内容についてはこれまでと変わりなく、入園の手続きについて両親が働いていなくても入園できるよう市民のニーズを反映したもののお話があったと思うのですが、私は認定子ども園となって教育という観点が出てくると思ってその時は質問したのですがこの辺りはどうなのですか。

#### 【山越教育長】

認定子ども園になり「教育という観点での指導がスタート」の部分については、教育委員の皆さんに事前配布をしたあとになります。事務局に修正するよう指示しております。

これまでの保育園であっても、教育の部分はありました。保育要領の改訂により保育内容が少し教育の視点が拡充されているのであって、認定子ども園となったから新たに教育という観点が出てきたわけではないということです。

#### 【西尾教育センター所長】

今年度は認定子ども園と小学校の連携という視点で、福井大学から先生をお招きし、講話をお聞きすることとしています。子育て支援課の職員にも参加いただき、今後どのようにして、認定子ども園と小学校の連携から接続を図ればよいかをお話していただくことになっており、今後のかほく市がどのように認定子ども園と小学校の連携を進めていけばよいか参考にしていきたいと思います。

#### 【松井委員】

学校防災マニュアルについて、専門家がチェックしたものなのか。

#### 【北川学校教育課課長補佐】

毎年、県の指定を受け学校防災アドバイザーの派遣を行っており、マニュアルのチェックもしています。昨年度は七塚小学校が指定を受け、今年度は河北台中学校となっています。また、各学校の「危機管理マニュアル」も提出を求め、更新されているかの確認も行っています。

#### 【鮎野委員】

少し気になっているのが不登校についてであります。毎年、増加傾向にあったものが、増加が抑制されたとの説明でありましたが、このあたりの推移について、もう少し、詳細に説明をお願いします。

#### 【西尾教育センター所長】

毎年、4月は中学校3年生が卒業して、30人前後でスタートし、5月の連休明け、夏休み明けに増加し、年度末の3月には50人前後に増加し、毎年20人前後増えているという状況にあります。昨年度は4月に30人でスタートし、年度末の3月には34人ということで、増加が抑制されたということになります。特に毎年、中学生の増加が目立つのですが、昨年は中学校での増加がなく、中学校での早期対応がこの結果になったと考えております。



**【山本教育長職務代理者】**

4月の数字から1年間で4人しか増えていないということは、これまでにない画期的な数字であると思います。

**【鮎野委員】**

いじめについては、絶対にあってはいけないと思うのですが、この不登校に関して、いじめが原因なのか、家庭環境により不登校なのかそのあたりの原因はどうなのですか。

**【西尾教育センター所長】**

不登校の原因については、自分自身の問題、家庭環境や学校での友人関係、親の問題など、いろいろな問題が絡み合っただけで不登校になっているのが現状です。大きく3分の1が自分自身の問題、3分の1が家庭や親の問題、残り学校が起因する問題と言われております。

**【山越教育長】**

いじめが原因による不登校は重大案件となり、緊急の対策を取る必要があります。このあたりは、友人関係なのか、いじめなのかの判断は難しい部分ではあると思います。

「いじめの認知」については、積極的に認知し、早期発見、早期対応をしていきなさいというのが、今の流れとなっています。

**【長柄委員】**

I C T機器の整備について、先生方の活用の現状と今後の方向性についてどのように考えていますか。

**【北川学校教育課課長補佐】**

毎年、文部科学省の調査において、授業中にI C Tを活用して指導できる教員の割合が、約7割となっております。かほく市においても、今年度から教員が授業で使うタブレットの整備を予定しており、まずは教員がI C T機器を活用できるようにI C T機器の整備に取り組んでいきたいと考えています。また、高松小学校では児童が使用するタブレットを20台整備していますが、全小中学校の児童生徒がタブレットを活用した授業の取組については、今後5年間の取組となる教育振興基本計画の改定の中で、盛り込んでいく必要があると考えています。

**【松井委員】**

高等教育機関との連携の部分で、市内に県立看護大学があるわけですから、包括的連携事業についての取組があってもよいのではないかと。

**【山越教育長】**

県立看護大学との連携事業についての取組を追加したいと思っております。

それでは、皆さんの意見を踏まえ、評価についても再度見直し、修正した報告書をもとに学識経験者に送付して、意見交換したいと思います。

この議案については、引き続き継続審査といたします。よろしいでしょうか。

(異議なし)

## 協議・報告事項

- (1) 平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 6 月認定結果について
- (2) 平成 30 年度奨学資金支給に係る奨学生の決定について
- (3) 平成 30 年度コミュニティ・スクールプランに係る査定結果について
- (4) 第 15 回かほく市生涯学習フェスティバルについて
- (5) 第 70 回石川県民体育大会日程及び会場について

### 【山越教育長】

協議報告事項の 1 点目の平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 6 月認定結果についてから 5 点目の第 70 回石川県民体育大会日程及び会場についてまでを事務局から説明願います。

### 【北川学校教育課課長補佐】

(平成 30 年度要保護及び準要保護児童・生徒就学援助費 6 月認定結果及び平成 30 年度奨学資金支給に係る奨学生の決定について説明)

### 【折戸生涯学習課長】

(平成 30 年度コミュニティ・スクールプランに係る査定結果から県民体育大会日程及び会場について説明)

### 【山越教育長】

説明が終わりました。委員の方から質問、ご意見はありませんか。

### 【山本教育長職務代理者】

コミュニティ・スクールプランで、今年度新たにに取り組むこととなった事業、目玉となる事業はありますか。

### 【折戸生涯学習課長】

基本的には、昨年度からの継続事業が多くなっており、特に目玉となるような事業はありません。

### 【山越教育長】

コミュニティ・スクールも、今年で 3 年目を迎え、ひとつの区切りとして、来年度に向けてこのコミュニティ・スクールプランも見直していきたいと思っております。

そのほか、委員の方から質問、ご意見はありませんか。

(質疑なし)

## その他

### 【山越教育長】

その他ということで、事務局から説明願います。

### 【北川学校教育課課長補佐・折戸生涯学習課長】

(6 月後半・7 月の行事予定、今後の事業予定について説明)

### 【山越教育長】

(次回開催日は、点検評価における学識経験者との意見交換会の終了後に実施することとし、7 月 17 日(火)から 7 月 19 日(木)の間で学識経験者と日程調整することで決定)

## 閉 会

### 【山越教育長】

以上で、平成30年第6回かほく市教育委員会を終了します。お疲れ様でした。

午後5時00分 閉会

教 育 長            山 越        充

署名委員           松 井   三 枝 子

署名委員           長 柄   悦 子

議案第18号（継続審査）

平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、別冊の平成29年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書を、議会に報告したいので、審議願いたく提案する。

平成29年6月14日提出

かほく市教育委員会教育長 山越 充

議案第19号

かほく市文化財保護審議会委員の任命について

かほく市文化財保護条例（平成16年条例第99号）第18条の規定により、次の者をかほく市文化財保護審議会委員に任命する。

氏名	備考
袖吉正樹	文献史学（古文書）

平成30年7月18日提出

かほく市教育委員会教育長 山越 充

-----  
(退任者)

氏名	退任年月日	備考
小泉 博	平成30年5月31日	歴史一般